

被爆・終戦 80 年県民向けイベント 「核抑止を乗り越えて」の開催について

1 要旨

核兵器のない平和な世界の実現に向けて、県及びへいわ創造機構ひろしま（HOPe）では、核抑止に依存する必要のない安全保障の形成に向けて取り組んできたが、これらを中心に、第一線で活躍するの専門家に解説していただき、県民の理解を深める。

2 現状・背景

県及びへいわ創造機構ひろしま（HOPe）は、核兵器廃絶に向けて、各国が核抑止に依存しない安全保障システムへの転換に向けたビジョンを構築することが重要だと考え、ひろしまラウンドテーブルの開催や核抑止に依存する必要のない安全保障の研究に取り組んでいる。

3 イベント概要

(1) 開催日

令和 7 年 8 月 30 日（土） 13:30～15:45

(2) 場所

広島国際会議場 ダリア（広島市中区中島町 1-5）、オンライン配信（日英同時通訳）

(3) 実施主体

へいわ創造機構ひろしま（HOPe）

(4) テーマ

「核抑止を乗り越えて」～核抑止に依存しないグローバルな安全保障システムを目指して～

(5) 内容

〈第 1 部〉講演（40 分）

「核抑止を乗り越えるためには」～現状の国際情勢を踏まえながら～

・藤原 帰一 順天堂大学特任教授、東京大学名誉教授

〈第 2 部〉核抑止に依存しない安全保障研究の紹介（60 分）

(1) 核抑止に依存する必要がない世界の要素と条件

・ルーカシュ・クレッサ 英国王立防衛安全保障研究所（RUSI）ディレクター

・浅野英男 一般社団法人「核兵器をなくす日本キャンペーン」コーディネーター

(2) 地域レベルの事例～信頼醸成措置（朝鮮半島を事例に）

・ウィルフレッド・ワン スtockホルム国際平和研究所（SIPRI）ディレクター

・西山 心 長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）客員研究員

〈まとめ〉今後に向けて（20 分）

・藤原 帰一 順天堂大学特任教授、東京大学名誉教授 ほか

4 予算（単県）

8,128 千円（HOPe への負担金）

5 参考

被爆・終戦 80 年特設ウェブサイト

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/peace80/>